

議会だより

# おかがき

No.80 6月定例会 平成22年8月10日発行

役場の課を統廃合へ ● 2  
(10月からスタート)

町政を問う ● 6~7  
一般質問



定例会

6月

概要



# 役場の課を統廃合へ（10月からスタート）

（関連P4・5へ）

## 多様化する住民ニーズに的確に対応 今後取り組む施策を着実に執行するため

6月定例会は6月4日～14日までの会期で開かれ、11議案、請願1件、陳情3件などについて審議しました。

●本会議で提出された主な議案は、

- ①岡垣町課設置条例の一部改正
- ②職員の勤務時間及び休日、休暇等の一部改正
- ③職員の育児休暇等に関する一部改正
- ④岡垣町税条例の一部を改正

●全員協議会は、

- ①岡垣町組織機構改編と行財政構造改革プログラムなど

- 固定資産評価審査委員会委員に元谷直樹さん（再任・新海老津区）
- 町職員の勤務時間等に関する条例の一部改正  
本人の申し出により、
  - ①就学前の子どもを持つ職員は、深夜勤務や時間外勤務の総時間が制限されます
  - ②3歳未満の子どもを持つ職員は、時間外勤務をすることが禁止されます
- 町職員の育児休業等に関する条例の一部改正  
男性の育児休業の促進のための改正です
  - ①配偶者の条件にかかわらず育児休業が取得できます
  - ②育児休業の再度取得が可能になります

議案ほか決議について

議員の賛成○・反対●・除斥除・退席退・欠席欠

議案・請願・陳情・発議 等 内容	採決日	結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			市 津 広 海	木 原 信 次	久 保 田 秀 昭	三 角 善 彦	下 川 路 勲	石 井 要 祐	太 田 強	矢 島 恵 子	西 田 陽 子	竹 内 和 男	山 田 隆 一	平 山 弘	藤 崎 光	大 堂 園 治	横 山 貴 子
岡垣町固定資産評価審査委員会委員の選任について	6月 4日	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町課設置条例の一部を改正する条例	6月14日	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○
岡垣町職員の勤務時間及び休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	6月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	6月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	6月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	6月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて —岡垣町税条例の一部を改正する条例—	6月 4日	賛成多数 可決	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて —岡垣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例—	6月 4日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて —平成21年度 岡垣町一般会計補正予算(第6号)—	6月 4日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて —平成21年度 岡垣町老人保健事業特別会計補正予算(第4号)—	6月 4日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町消防団本部分団水槽付消防ポンプ自動車購入契約について	6月 4日	可決	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
郵政民営化の抜本見直しに関する請願書	6月14日	賛成少数 不採択	●	●	○	●	●	●	●	欠	○	●	●	○	●	○	●
選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書	6月14日	賛成多数 採択	○	○	●	○	○	○	○	欠	●	●	○	●	○	●	●
選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書	6月14日	賛成多数 採択	○	○	●	○	○	○	○	欠	●	●	○	●	○	●	●
人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書	6月14日	賛成少数 不採択	●	●	○	●	●	●	●	欠	●	●	●	○	●	●	●
「拡大生産者責任」「デポジット制度」の導入で循環型社会の再構築を求める意見書の提出について	6月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○

# 岡垣町課設置条例の一部を改正する条例

## 反対の ポイント

## 民間委託や委譲は 住民サービスの低下につながるため

反対

平山 弘 議員

この条例は「選択と集中」という、民間企業の経営戦略の手法で行政を行うのに併せた、町の課設置の改編である。

町の方針は、敬老祝い金・敬老特別祝い金、私立幼稚園就園奨励金の縮小である。

東部保育所の民間移譲や、いこいの里の入浴施設、老人憩いの家など、公共施設の管理・運営を民間に任せたり、移譲する、補助金の見直しや役場窓口業務も民間委託する方針である。

雇用や生活不安がつづく中、高齢化が進む中、住民サービスが低下することになる。

社会的・経済的弱者に光をあてた、温もりと温かみのある町政が求められている。

### 【改編後の課の編成】

	現在	改編後
企画グループ	企画政策室	企画政策室、情報推進課
総務グループ	総務課、管財課、会計課、情報推進課、 税務課、地域づくり課	総務課、会計課、 税務課、地域づくり課
住民生活グループ	健康福祉課、こども未来課、 環境共生課、住民課、	福祉課、健康づくり課、 こども未来課、住民環境課
地域整備グループ	建設課、農林水産課	都市建設課、産業振興課、 上下水道課
	上下水道課	(地域整備グループへ統合)
教育グループ	教育総務課、社会教育課、公民館	教育総務課、生涯学習課
	議会事務局	(変更なし)

※上下水道課、教育委員会、議会事務局は他の条例、規則等の改正によるものです

### 【庁舎内配置】

本館1階	住民環境課、健康づくり課
本館2階	総務課、地域づくり課、上下水道課、税務課、福祉課、こども未来課
本館3階	教育総務課、生涯学習課
新館1階	都市建設課、産業振興課
新館2階	企画政策室、情報推進課
新館3階	議会事務局

# 賛成の ポイント

## 効率的かつ迅速に 住民ニーズに対応するため



西田 陽子 議員

従来18あった役場の課が16になり課の再編統合が行われる。多様化する住民ニーズや地方分権による事務事業への対応策である。併せて今後598の事務事業を見直すということだ。如何に効率的で実効性の高い組織に改編していくか、そして住民サービスを向上させるかが問われるところである。今後住民に対しては徹底した情報公開と説明責任を果たすべきだ。また窓口業務などのアウトソーシングなどで職員の労働形態も多様になれば、情報の共有化が欠かせない。また、これは言うまでもないことであるが議会にはその都度詳しく説明がなされるべきだ。

三角 善彦 議員



意思決定の迅速さは、住民、企業団体が求めることの一つだ。

庁舎内の事務の効率化を図る組織を構築し、各課のグループに決裁権限を増やしていくとするのが今回の組織機構改革と考えるべきではないか。選択と集中の経営手法による自治体運営を、効率化優先による住民サービスの低下と捉えるのではなく、住民ニーズに迅速に対応する組織づくり、説明責任を果たせる組織づくりと考えるたい。

下川路 勲 議員



第4次総合計画は「人と自然にやさしいハーモニー」を基本理念に取り組み、平成17年には「協働力の強化」の3本柱で進めてきた。

第5次総合計画の策定では「組織機構の改編」「選択と集中」「事務事業の見直し」で常に問題意識と改善意欲を持ち、行政は住民サービス、住民福祉と生きがい作りの手助けをすることを目的としている。アンケート結果では自然が多く住みやすいと言われながらも、交通の便が悪く買物に不便とも指摘されているので、策定に当たってはアンケートの精査を願うての賛成討論とする。

大堂 圀治 議員



少子高齢化や地方分権の進展と住民ニーズの多様・高度化が大きく変化している中、行政組織の見直しは重要である。財政が厳しい中で、行政のスリム化を図り効率・能率化を目指し、住民サービスを確保することが大きな課題である。

今回の見直しで、この目的が達成されることを期待する。生活弱者と言われる、高齢者や障害者への行政サービス向上とやさしい町づくりに向けての施策はしっかりと進めて行かなければならない。役場職員の「意識の高揚」がキーポイントになるため明るく楽しい職場づくりと住民への行政サービス精神を忘れずに、職務に精励して欲しいと願っている。

## 竹内

### 違法焼却には勧告を！

## 町長

### 不法な場合は勧告する！



竹内 和男 議員

**竹内** 情報プラザの有効活用を！

**町長** 利用用途及び管理運営方法について見直しを検討する

**竹内** 情報プラザ「人の駅」の運営を早急に見直すべきではないか、見解を求めます。

**竹内** 宅地内において、違法に焼却し、周辺に異臭を発生させ、住民に不安感を抱かせようとする行為の速やかな中止を求めるため、焼却炉等の使用差し止めを勧告すべきだが、町長の見解を求めます。

**町長** 野外焼却の連絡を受けた場合は位置を確認し、環境共生課がその住民と話をし、不法な状況であれば、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により「5年以下の懲役又は一千万円以下の罰金」である旨を伝える勧告をします。



情報プラザ「人の駅」

施設の用途変更は、補助金の返還などの課題がありますが、利用用途及び管理運営方法について外部評価の結果に基づき具体的な見直しを行います。

## 西田

### 孤立死をどう防ぐ？

## 町長

### 今後十分に協議する



西田 陽子 議員

**西田** 孤立死は高齢者だけの問題ですか。

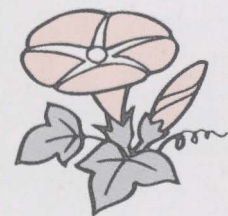
**町長** 高齢者でなくとも起こります。

**西田** 4月5日に小郡市で、母娘2人の孤立死がありました。町でも民生委員さんや地域が精力的に努力されているが、その把握ができない部分をどうするのですか。北九州市の調査では、五十代の男性の一人暮らしに多いとのこと。

※このほかに、「花いっぱい運動」について及び「犬のフン公害」問題について、質問しました。

**町長** あらゆる公的機関と地域が連携して地域福祉を進めます。高齢者などの孤立を防ぎ社会との交流がある生活を維持するためには、行政だけで解決することは難しく、地域の皆様に、まちづくりや地域福祉活動を支えていただいております。心から感謝しています。町の自治区加入率は90・5%と他に比して高く、社協が推進する小地域福祉ネットワーク活動など地域における見守り活動は、既に幾重にも行われています。

**西田** 地域と交渉を断ち、助けてと言えない人をどうするのですか。小郡市では民生委員の方たちから協力を得て、緊急雇用対策の予算を使って、



台帳の作成をしています。岡垣町でも防災計画の中に要援護者の名簿作りをするとあります。先般の新潟県中越沖地震で長岡市は名簿作りをしていたので、地震発生当日に要援護者の安否確認ができたということでした。住民の安全安心を保障し、生命の尊厳を守るのは自治体の最大の役割です。

**町長** 今後も、民生委員協議会や自治区、校区コミュニティなど地域の力と一体となり、努力していきます。

※このほかに、農業・地域分野に男女共同参画の推進、また男性職員の育児休業取得の促進を求めました。



# 平山

## コミュニティバス運行の見直しをすべきではないか

### 町長

#### 利用実態を調査し判断したい



平山 弘 議員

炎、肺炎、中耳炎などが起こります。子宮頸がんは20代、30代の若い女性に爆発的に増えている、年間1万5千人が罹患し、3千5百人死亡しています。

**平山** 乗りやすい・快適との声もありますが、目的地までに時間がかかる、乗車オーバーで取り残されたなど、以前より便利が悪くなったとの声が多く聞かれます。運行見直しをすべきではなでしょうか。

**町長** 今回の再編は実証運行と位置づけており、1年後路線やダイヤの見直しを行う予定にしています。利用実態や利用者の意向を調査し、必要であれば年度途中で一部ダイヤ改正を検討し、利便性の向上を図っていききたいと思います。

**町長** 厚生労働省は、この三種の予防接種法改正や公費助成について、予防接種部会で議論するとしています。

○三種ワクチン接種について

**平山** 肺炎球菌やヒブに感染すると、子どもは細菌性髄膜炎、肺炎、中耳炎などが起こります。子宮頸がんは20代、30代の若い女性に爆発的に増えている、年間1万5千人が罹患し、3千5百人死亡しています。



ボク 飲みたくないよ

ワクチン接種と健診により予防できるといわれています。三種のワクチン接種への助成をする自治体が増えている。町として、助成措置を実施する考えはありませんか。

**町長** 厚生労働省は、この三種の予防接種法改正や公費助成について、予防接種部会で議論するとしています。

**町長** 岡垣町では、生産高県下一位の「ビワ」や漢方薬を使って栽培されている「漢方巨峰」など特色あるものが多くあり、町の知名度やイメージアップを図れる貴重な資源と考えています。町のあらゆる公共施設にリーフレットやパンフレット



太田 強 議員

### 町長

#### 特産品は町の知名度アップに重要な資源

# 太田

## 町の特産品の宣伝強化を

論するとしています。住民の健康に係わる非常に重要な問題なので、速やかに検討するよう国に要望します。各自自治体の助成の内容は、費用の全額助成もありますが、

一部助成の自治体が多ようです。国の動きや自治体の対応、問題点を見極めた上で、どう対応するか判断していききたいと思います。

**太田** 焼酎「岡垣」やビワ、イチゴ等の特産品を町として宣伝を強化すべきではないでしょうか。

を置いたり、ホームページに掲載しています。また、産官学連携事業として福岡市で観光文化物産展も開いています。7月には、「はしご酒まつり」を開き、焼酎「岡垣」の強力な宣伝計画も企画しています。

**太田** 「高倉びわ茶」は町の特産品として、また九州大学の協力で「葉取り専用のビワの木」の開発は、今後新しい産業としても育てられませんか。

**町長** 現在商工会が主体的に取り組まれているが、今後の事業進捗の状況をみながら地場産業の育成のため、適切な支援策を検討したいと思います。

**太田** 「地場産業の育成」に



町の特産品

は、農漁商工の連携をさらに強化すべきと思いませんか。

**町長** 農漁業、商工業が連携し、それぞれが有するノウハウ、技術などを持ち寄り、付加価値を高め、創意工夫した新たな事業展開を促進していくことは、農漁業と商工業の活性化のために重要であると認識しています。

大事なことは、生産農家や漁業従事者、流通や販売を行う業者などのいずれにも利益があり、安定的に一定量の商品を提供できるシステムを整備して、消費者から広く受け入れられる態勢を確立すべきと考え、将来的に円滑な事業推進ができるよう農林水産部門と商工部門を一つの課に統合し対応できる体制を考えています。

## 議員の考えを述べよ！

総務常任委員会 委員長 三角 善彦

岡垣町議会は、3回目の開催となる議会住民懇談会を実施しました。

総務常任委員会は、今年は、中央公民館を担当し、5月20日(木)18時から行いました。

### 懇談会のすすめ方

懇談会は2時間構成です。まず、予算等の説明をしたあと、質疑を受けながら、懇談を行います。

### 説明の担当

- ① 予算の総括について 三角 善彦 委員長
- ② 農業・漁業政策について 藤崎 光 副委員長
- ③ 予算の歳入・緊急雇用対策について 平山 弘 委員
- ④ 子育て支援について 横山 貴子 委員
- ⑤ 第5次総合計画について 木原 信次 委員

### 参加者の主な質問

- ① 下水道など、未整備の地域については、どんな認識か
- ② 議員の報酬または議員定数については、どんな考えか
- ③ 地域コミュニティの助成の拡充を図るべきではないか

### おしかりのことは

- ① 開催時間(18時)の配慮が欲しい
- ② 議案の審議過程をもっと知りたい
- ③ 議員の視点でまちづくりを語るべきだ

### お褒めのことは

- ① 議会だよりでは難解な点が理解できた
- ② 自分たちが住む町の展望の具体的な政策が、どのように進められていくのか、概ね理解できた

### 反省点

- 住民懇談会は、議員個人の主張をしない、などのしぼりが開催要領にあります。今後の開催にあたって、
  - ① 住民の皆さんが求めている議員個人の意見を主張していくべきだ
  - ② 議論の経過を詳細に述べないと開催の趣旨が伝わらない
  - ③ テーマをしぼって開催すべきだ
- 地域ごとの要望等をお聞かせいただくことはもちろん、委員会報告の枠を超えた、主義主張の違う、私たち議員の本音を論じる懇談会が求められているのかもしれない。





# 議会の審議内容をもっと明確にすべき

## 文教厚生常任委員会 委員長 竹内 和男

はじめに

5月21日(金)18時から西部公民館において、総括・平成22年度岡垣町予算(竹内和男委員長)、介護予防サービス及び、子ども手当て支給(西田陽子副委員長)、がん検診・インフルエンザ対策(市津広海委員)、小中学校耐震化事

業等(矢島恵子委員・欠席)、敬老事業(大堂圏治委員)を、報告しました。

⑤退職者(職員OB)会について  
⑥後期高齢者医療制度における、心臓病など、4つの健診が除外されている問題に対する指摘について

### 会場の熱気

参加者(28名)が比較的少なかったが、会場では、議会に対する熱い意見と、町に対する真摯な要望が出されました。

⑦子宮頸がん、ヒブワクチンなどに対する町の助成への要請(2名)  
⑧サンリーアイの財政運営問題

意見要望を記し、参加された皆様への御礼と、今後の委員会での協議に活かしてまいります。

⑨前立腺がんのPSA検査の助成を  
⑩校庭の芝生化の推進を

### 参加者意見・要望

①議員の、行政に対するチェック機能について

① 予算や事業の説明では、執行部の予算提案が、議会としてどう審議・検討されたかという部分をもっと明確にすべきであるとの委員共通の認識であり、今後の検討課題です。

② 議員の定数について

③ 費用弁償のあり方について

② おわりに  
予算や事業の説明では、執行部の予算提案が、議会としてどう審議・検討されたかという部分をもっと明確にすべきであるとの委員共通の認識であり、今後の検討課題です。

④ 内浦小学校・体育館の雨漏り、屋内天井のコンクリートの剥離について(2名)

③ 費用弁償のあり方について



# 期待される住民懇談会を目指す！

## 経済建設常任委員会 委員長 石井 要祐

はじめに

参加の皆さんが町議会を身近に感じて頂き度い懇談会を目指し、5月24日(月)18時から東部公民館で約50人の参加で開催しました

説明の担当

主催挨拶 曾宮良壽議長



予算の総括

平成22年度予算総括では町長公約「5つの約束」の実現に向けての予算計上と宮内町長の施政方針を紹介し、3月定例会で可決、採択された一般会計当初予算額80億6000万円の内訳等を説明しました。

懇談の内容

懇談会の基となる報告会は事業には予算が伴うので経済建設関連事業を当初予算に基づき各委員が日頃からの調査研究を個々の考えで担当課目を説明し19時10分頃から懇談

会に入りました。懇談会では一、前町長から宮内町政に代ってどの様な予算として表われているか

一、職員の給与削減、特別職の給与の見直し等が行われているが議員は報酬を減額しないのか。その他市中心街地活性化に対しての提言を含め数多くの質疑を頂きましたが、いろいろな発言に対しての整理が上手くなかった事を反省しています。

おわりに

今回、参加者への初のアンケート実施に於いては殆んどの方に誠意ある協力を頂き今後の開催に大いに勇気付けられました。心より感謝いたします。





## 平成22年度 岡垣町議会住民懇談会 アンケート結果報告

議会住民懇談会に際し、出席者の方を対象にアンケートを実施しました。出席人数延べ102名の方のうち、82名から回答をいただきました。

主な内容は次のとおりです。アンケートの結果は、今後の議会活動の参考にいたします。ありがとうございました。

### ●年 齢

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
総務	0	0	0	0	1	15	6	1
文教	0	0	1	4	5	6	6	1
経済	0	1	1	2	9	6	15	2
合計	0	1	2	6	15	27	27	4

### ●性 別

	男	女
総務	22	1
文教	16	7
経済	32	4
合計	70	12

### ●住民懇談会を知ったきっかけ

	議会だより	回 覧	有線放送	案内など
総務	9	4	0	9
文教	10	4	2	7
経済	18	6	3	9
合計	37	14	5	25

### ●今後の開催

	開催してほしい	開催してほしくない
総務	22	0
文教	21	0
経済	31	1
合計	74	1

### ●内 容

	分かりやすい	分かりにくい
総務	12	4
文教	13	2
経済	17	7
合計	42	13

#### ◇分かりやすい

- ・議会だより等では分からない事が多く、説明を聞く事で分かってきた。
- ・項目別で分かりやすかった。

#### ◇分かりにくい

- ・具体性に乏しい。
- ・資料をもっと詳しくしてほしい。

#### ◇その他

- ・議員の考えも話してほしい。

#### ◇開催してほしい

- ・議員の声が直接聞け、コミュニケーションもとれるため。
- ・議会だよりだけではわからない。説明された方がわかりやすい。
- ・住民の意見を聞くことができるよい機会になると思う。
- ・行政・議会が身近に感じる。
- ・議員がまちづくりにどう取り組むかを具体的に提言してほしい。
- ・住民が議会に目を向けるために是非やってほしい。
- ・町民の声をダイレクトに議員にぶつけ、それを議員がどういう風に受取り、それをどう活かすかを見たい。

#### ◇その他

- ・時間どおりに終わってほしい。

### ●その他のご意見

- ・懇談会の結果報告をしてほしい。
- ・開会時間を考慮してほしい。
- ・分かりやすい説明と資料を提供してほしい。

おんが

レガッタ

5月29日(土) 遠賀川において開催されたおんがレガッタ(遠賀町主催)に昨年に引続いて参加しました。町長会や各町議会、諸団体と有意義な交流ができました。



右から

(監督) 太田  
(選手) 三角・山田・下川路・曾宮・市津

一丁ため池周辺をボランティア清掃



日頃から早朝に清掃していただいています。ありがとうございます。

訃報

6月28日に矢島恵子議員が急逝されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



臨時議会開催

議員の死去に伴い、7月12日に臨時会を開催し、遠賀・中間地域広域行政事務組合議会議員に山田 隆一議員が選出されました。

どうぞ  
傍聴席へ

次の定例会は

9月3日(金)  
開会の予定

編集後記

山田 隆一

暑中お見舞い申し上げます。今夏一番の政治の熱い戦いである参議院選挙も終わり、またもや衆参のねじれ現象が起これり、国民不在の政争が繰り返されるのではないかと危惧を抱かれます。現状の日本は与党、野党と言っている場合ではありません。国民はうんざりしていません。景気回復、年金、医療等々日本の抱えた重要課題に真摯に取り組み国民の生活の安定に汗をかいていただきたい。これを一番望んでいます。一日も早く国民のための政治が行われることを望んでいます。まだ、暑さは続きますが皆様ご自愛のほどを。

発行責任者

議長 曾宮 良壽

議会広報特別委員会

委員長 横山 貴子  
副委員長 三角 善彦  
委員 市津 広海  
委員 下川路 勲  
委員 竹内 和男  
委員 山田 隆一